

絶望のフチからの出発 「ドメスティック・バイオレンス」

監修 弁護士 道あゆみ
実業之日本社 ¥762円+税



ここ数年、DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉を新聞・雑誌等で耳にし、目にするのが増えた気がします。果たしてその実態とは?

この本には、配偶者間の暴力(DV)を実際に被害を受けた女性の「生の声」7例の告白手記が載っています。「自分とは無縁」「信じがたい」と思いました。もし、人知れずDVで苦しんでいる方がいたら、被害にあったらどうしたらいいのか…行政は…

立ち直れる方法は…きっと道しるべになると思っています。
「そよかぜ協力員」

「そよかぜ」企画・編集協力員です。

そよかぜ協力員4名と男女平等推進企画・運営協力員1名が意見交換を重ね、楽しく「そよかぜ」の企画・編集をしています。男女が平等な社会を目指し、市民の皆さまに手に取っていただける情報紙をお届けしていきたいと思っております。

皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております。

(そよかぜ委員)

加藤和江 須藤里美 中村徳子 早川真理子
(男女平等推進事業企画・運営協力員) 梶原絹江

編集後記

少し前まではDVに対して自分とは無縁、関係ないと、テレビや小説の中のことと思っていた。DVに対して信じがたい、許せない、怒りや嫌悪感を感じました。(とつと)

声高には言わないだけで、DVを我慢している人はたくさんいると思います。実際に私の身近にもいます。(かずたん)

日常的には目をそむけたくなる内容のものばかりで、考えさせられることばかりでした。(よつば)

DVを学び、いつでもどここの家庭でも起こりうることもあるのだなと実感しました。(まりりん)

最近
考えた
こと



ことばの『暴力』と闘う

今、親として子どもに伝えたいこと

「暴力」と聞くと、真っ先に思いつくことは、殴ったり・蹴ったりなどの身体への暴力だと思えます。しかし、それだけが暴力ではありません。「友達と電話で話したり会おうとすると不機嫌になる」とか「外出すると何度もメールや電話をしてくる…」など、ことばや態度で精神的に追い詰めていくことも『暴力』になります。私は、子を持つ親として、『暴力』から起きてしまう大きな事件を見るたびに、子どものことが真っ先に頭に浮かびます。

そして、被害者にも加害者にもならないために、まずはお互いの心や身体などを大切にしましょう。また、私は相手のその人らしさをお互いに認め合うことを子どもに伝えていきたいと思っています。そして自分の気持ちを相手に、自分のことばではっきりと伝えることを意識して日々の生活を子どもと一緒に模索していきたいと思っています。

もしも今、一人で悩みを抱え込んでいる人がいたら、いろいろな回避の方法があることを知ってほしいのです。『暴力』を振るう相手を自分一人では変えることは困難です。安心して相談できますので、ぜひ身近な相談窓口に一歩を踏み出してください。私は、強く願います。

「そよかぜ協力員」

平成25年度 あさか女と男セミナー

私もイキイキ あなたもイキイキ 心にも身体にも輝きを!
～暮らしの中から新しい自分を見つけてみませんか～

日時	テーマ	内容	講師
第1回 10/8(火) 午前10時～正午	あなたが引き立つ色は何色ですか? ～新たな自分への第一歩～	何気なく着ている服の色があなたの印象を決めているかもしれません。カラーコーディネートで男性も女性もあなたらしさが輝く新しい色を見つけませんか?	カラリスト&カラーセラピスト 黒坂 めぐみ 氏
第2回 10/12(土) 午前10時～正午	『イクメン』ハッピーアドバイス ～仕事も大事。子ども妻ももちろん大事～	子育てに男性が積極的に参加することで救われる女性が多いのではないのでしょうか。男性の育児参加について一緒に考え、みんなで楽しくイキイキと育児をしていきましょう。	イクメン官僚 [経産省の山田課長補佐 いただいた育休中]著者 山田 正人 氏
第3回 10/15(火) 午前10時～正午	救うためにあなたができること ～DVの現場から～	あなたの周りに、もしDVを受けている人がいたら、何が出来るのでしょうか。「DVとは何か」知ることから始めませんか。	特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンター 瀧田 信之 氏
第4回 10/19(土) 午前10時～正午	食事が自分をつくる ～10年後のあなたのために～	毎日口にしてるものが「身体」を作り上げています。食べ物があふれる今、何を選ぶかが大切。男女が互いに健康な毎日を過ごすために食から見直しましょう。	順天堂大学大学院 医学研究科博士課程在籍 (元株式会社タニタ研究員) 本田 由佳 氏
第5回 10/22(火) 午前10時～正午	震災が起きた時あなたは!? ～備えと個々の役割～	東日本大震災から2年。震災にみまわれたとき、何が起こり、どうなるのか。復興の道をたどる今の状況は!?守るべきものを守るために、備えを学び、男女平等の視点から考えましょう。	福島県男女共生センター 事業課主査 長沢 涼子 氏

会場：コミュニティセンター 定員：30人(2、4回目のみ70人)
対象：市民 保育：1歳以上就学前の幼児15人(要予約)

申込み：9月10日(火)午前9時から受付開始
下記女性センターまで電話または直接窓口へお申込みください。

*保育利用の方は10月1日(火)までにお申込みください。

*保育1回利用に付き事前に500円の保険料をいただきます。10月1日(火)までに女性センターにお持ちください。保育利用人数により保険料は変動いたしますので余剰金が発生した際には講演会当日にご返金いたします。

*お子さんを会場内にお連れしての参加も可能です。

*手話通訳をご希望の方は、9月24日(火)までにご連絡ください。

申込み先▶女性センターそれいゆぶらざ

TEL：048-463-2697 FAX：048-463-0524 Eメール：zinken_syomu@city.asaka.saitama.jp

主催/朝霞市 企画・運営/あさか女と男セミナー-企画・運営協力員

参加費
無料

保育あり
要予約